

リメンバー名古屋10周年記念冊子

「自死遺族のあの日・自死遺族のその後(仮題)」-二次募集

前回発行した冊子「自死遺族の手紙」は反響が大きく、400人以上の方から郵送で申し込みをいただきました。スタッフで手分けをして、遺族会以外の日に何日もかけて、開封と文集の送付作業を行ったのですが、切手とともに同封していただいたお手紙の中に、「高齢のため会には参加できないが、皆様と想いをともにしたい」「足の具合がよくないので参加できないが、冊子を送ってほしい」などのメッセージを多くいただきました。また、お手紙は同封されていなくても、文字やかなづかい等から、ご高齢の方からのものと見受けられるお申し込みを、非常に多くいただきました。

文集を通じて、書いたり、読んだりすることには、わかちあいに参加するのと同じような意味・力があるのかなと感じました。そこで今回は、「一般の部」をあえて設け、「概ね70歳以上の方」という要件をつけました。要件をつけたのは、やはり複数の方から「私はもう〇歳だけれども参加していいか、書いてもいいか」という問い合わせを受けたことがあるからです。「概ね70歳以上の方」という要件があれば、「あ、書いていいんだ」と思ってもらいやすいのかな、という、そんな思いからです。趣旨をご理解いただければ、70歳以下の方で会に参加したことのない方もご応募いただけます。

リメンバーに参加したことのある方は、年齢の要件はありません。できるだけ多くの方にご参加いただきたいと思います。すでに応募期間を長く設けていますが、書いている方がいらっしゃる間は延長してお待ちします。それは、原稿を書く、という作業の時間を、大切にさせていただきたいという思いからです。リメンバーの文集を通じて、あのときの思い、いまの思いを言葉にし、わかちあってみませんか。多くの方からのご応募をお待ちしています。

応募要件

【一般の部】…家族・友人・恋人など、大切な方を自死で亡くされた、概ね70歳以上の方

【リメンバーメンバーの部】…リメンバー名古屋の遺族会に継続的に参加したことのある方(年齢制限なし)

規定

「あの日のこと」「あの日の思い」「その後のこと」「その後の思い」「あの人への思い」をテーマに文章をお寄せください。詩、短歌など、短いものも可。字数制限はありませんが、長い場合調整をお願いする場合があります。

※寄稿くださった全ての原稿を掲載することができませんことを、あらかじめご了承ください。

※掲載にあたり、内容、表現についてご相談させていただく場合があります。

応募期限

2014年9月30日
(書き始めた方は早めにお知らせください。)

応募方法

メールでの応募可。ご連絡させていただく必要がありますので、ご住所・お名前・電話番号・メールアドレスを必ずお知らせください(情報の秘密は厳守致します)。

☆掲載時のお名前: 匿名で大丈夫です。どのように掲載するか、お知らせください。

問い合わせ先・原稿送り先

下記までお問い合わせください。

メール: remember_nagoya@yahoo.co.jp

FAX: 020-4668-8925

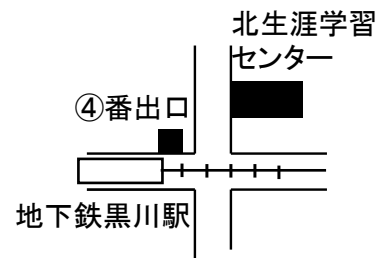
郵便: 〒460-0003

名古屋市中区錦2-18-5 MBE178 リメンバー名古屋

次回の遺族会

第65回

8月3日(日)13:15から
名古屋北生涯学習センター
地下鉄名城線「黒川」下車
(4番出口)よりすぐ
参加費: 500円



その次は...

第66回 10月の日曜日

※8月初旬に日程が決まります。

日程は、ホームページまたは、電話案内でご確認いただけます。

パソコンの方

<http://will.obi.ne.jp/remember/>

携帯電話の方

<http://www.will.obi.ne.jp/m/>

電話案内(録音でのご案内)

090-8544-9408

連載④ 「ここにいること」(本音編)

羊のミケ

生きてる意味か。

改めて呟いた。誰にも言わないけど、なんとなくぼんやりと輪郭は見えてきてる。最近。僕は目的があってこの大学に来た。こうりたい自分がはっきりと心にいて、そうなるために片道二時間かけて学びに来て。親父が自殺した時、僕の心にはぽっかりと穴が空いていた。悲しいとか寂しいとかそういう気持ちはあるのだろうけど、イマイチ実感が湧かない。感じることは、「心の何割かが死んだ」。ただそれだけだった。

黒ずみ、腐敗していく心を見つけてくれたのは親戚のおじさんだった。親父の従兄弟。年に数回しか会わないけど、僕は前からおじさんが好きだった。おじさんは親父が亡くなる数週間前から何かを察したかのように突然僕の家に住み着くようになった。

ネグレクト状態だった僕に家族の温もりを教えてくれた。親父が死んだ時、抱きしめてくれた。母方の家に引き取られるまでずっと一緒にいてくれた。初めて、自分にも味方がいるんだと思った。おじさんとは十年以上会ってないし、どこで何をしているかも知らない。ただ、あの人はどんなことがあっても味方してくれる。どこで何をしようかあの人は僕の中で生き続けているし、生涯死ぬこ

とは無い。その気持ちがあるからこそ、僕は今日まで腐らず生きて来れた。あの人がいなかったら、もしかしたら僕は既にダメになっていたかもしれない。

僕はあの人のみたいになりたい。あの人は結婚もしていないし子供もいなかったけど、僕の中に遺伝子以上に大きく確かな物を残した。困窮し、助けを求めている人の味方になりたい。おじさんが残した大きく確かな物は芽吹き、今この瞬間も僕を突き動かす原動力となっている。

僕に子供が生まれても、生まれなくてもおじさんが残した物は必ず伝えていく。僕が死んでも、僕が受け継いで残した物は決して消えない。

もしかしたら、こんなふうに誰かの心の中に生き続けることを生きてる意味と言うのかもしれない。

おじさんのことを思い出すと、この難題の輪郭が滲みながらも少しずつ見えてくる。思い出すだけで涙が出てくるし、声に出すと途端に安っぽくなってしまふから、誰にも言わないけど。もっと日々を重ねたら、涙も晴れて、これから味方する誰かに話せるようになるかもしれない。

(続く)

自死遺族向け 面接相談(無料)

○愛知県精神保健福祉センター

要予約 052-962-5377

毎月第3木曜日 午後2時-3時30分

○名古屋市精神保健福祉センター

こころば

要予約 052-483-2095

毎月第3火曜日 午前10時-12時

各都道府県、政令指定都市(名古屋市、浜松市、静岡市等)には、精神保健福祉センターが必ず設置されています。精神的なお悩みがある場合、まずは、お住まいの地域の精神保健福祉センターにご相談されるとお役に立つ場合があります。

法的なことでの相談

●全国自死遺族法律相談ホットライン(弁護団の弁護士が直接対応致します)

電話番号 ▪ 050-3786-1980

受付時間 ▪ 毎週水曜日(祝日を除く) ▪ 12時から15時まで

スタッフ募集

遺族会に参加したことがある方で、会の活動のお手伝いをいただける方募集しています。詳しくはお問い合わせください。

寄稿募集

寄稿文を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

新聞郵送をご希望の方へ

1月~6月末までのお申し込み(前期)…1000円もしくは82円切手(80円切手も可)13枚

7月~12月末までのお申し込み(後期)…500円もしくは82円切手(80円切手も可)7枚

お申し込みは、郵便番号・住所・氏名を記入の上ご送金いただくか、切手をご郵送ください。遺族会の当日、受付でお支払いいただいても結構です。

2014年11月2日

リメンバー
in岡崎

普段は名古屋市で行っている「わかちあい」ですが、名古屋市までは遠いという方も多くおられると思います。他の地域でもということで始まった「リメンバー名古屋in岡崎」は、今回で5回目となります。以下の内容で行うことが決まりました。

日時：2014年11月2日（日）

・ 午前10時または10時半(未定)より16時

場所：岡崎げんき館

内容：午前 近隣遺族会による座談会（一般参加可能）

・ 千の風の会（岐阜）、ディアレスト（名古屋）、
・ 浜松わかちあいの会（浜松）、リメンバー名古屋

・ 午後 自死遺族のわかちあいの会（自死遺族限定）

主催：リメンバー名古屋自死遺族の会

「リメンバーin岡崎」開催への思い

5回目にあたる今年度は、午後に行う遺族の分かち合いに先だて、午前に自死遺族のわかちあいを行っている近隣の遺族会関係者によるシンポジウム・座談会を企画しています。三河地区を中心とする遺族の方に、近隣の遺族会の存在、その取り組みを知ってもらおうと共に、「わかちあい」の難しさも含めたその意義を知っていただきたい、そして、今後地域で遺族に関わり、支援をする方に、「わかちあい」を運営する側の意識、問題点などを知っていただきたいという思いです。遺族当事者の方、支援者の方双方に、「わかちあい」の会の存在を知っていただき、「わかちあい」についての考えを深めていくことができれば、今後の地域の遺族、そして地域の支援体制の充実に役立つものになるのではないかと考えています。

「若者の集い」開催への思い

今回開催するリメンバー若者の集いは、所謂「若者」と言われる世代での分かち合いを目的としています。

私は、初めてリメンバーに参加したとき、うまく言葉では言い表せられないような想いに胸がいっぱいになりました。生まれて初めて同じ体験をした人たちとお会いすることができ、初めて複数人を前にして自分の体験を口にしました。知り合って数分しか経っていない人の前で、自分の心の奥底まで話していることを不思議に思うと同時に、何とも言えぬ安心感を覚えました。

以降、私は継続的にリメンバーに参加するようになりました。そして、次第に同世代の人たちとも分かち合いがしたいと思うようになり、今回の開催に至りました。自分と同じ世代の人たちが何を考え、どのような生きづらさを抱えながら生活しているか。私個人としても知りたくあります。また、普段遺族会に来られない方も、同じ世代の方々が集まるという点で足を運ぶ機会になればとも思います。

企画としては、自身の体験の分かち合いや、昼食会、それぞれの生きづらさの共有等を予定しております。途中参加ももちろん可能です。遺族会の存在を知りながら、参加者や活動内容がつかめないために参加できずにいる若者の方々に是非足を運んでもらいたく思います。生きにくさを感じながら生活している方、自死遺族としての体験を誰にも話せずにいる方、私と同じように仲間と巡り合いたいと考えてみえる方。それぞれの痛みや想いを共有できたらと思います。

「リメンバー若者の集い（仮称）」と称し、今回初めて「若者」を対象とした集いを催すことになりました。以下の内容を予定しています。

日時：2015年1月18日（日）

・ 午前、午後

場所：名古屋都市センター

・ （金山）

内容：詳細は未定です

主催：リメンバー名古屋自死遺族の会

2015年1月18日

リメンバー
若者の集い
（仮称）

名古屋市において、自死の遺族のわかしあいを行っている他の会のご紹介です。市外では、岐阜、津、浜松等にもあります。全国の遺族会等、リメンバー名古屋までお問い合わせいただけましたら、お知らせいたします。

次回「ディアレスト」のご案内

家族ではないけれども大切な人を自死で亡くされた方を対象に、2ヶ月に1回、遺族会「ディアレスト (Dearest)」が開催されています。

日時: 2014年9月15日 (月・祝日) 13:30-16:00

場所: 名古屋市中村生涯学習センター

地下鉄東山線「本陣」駅4番出口より徒歩5分

対象: 家族以外の人(恋人・婚約者・パートナー・親友・同僚・上司・部下・先輩・後輩・先生・生徒、など)を自死(自殺)で亡くされた方

参加費: 500円

連絡先: the.dearest1@gmail.com <http://dearest.heya.jp>

※事前にご連絡頂けると助かりますが、当日直接会場にお越し頂いても結構です。

※匿名でご参加頂いても構いません。

「～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室」次回のわかしあい

以下のように開催されます。詳しくはホームページ等をご覧ください。

日時: 2014年9月13日 (土)

・ 13:30～15:30 (開場13:15)

場所: 東桜会館 第一会議室

・ 地下鉄新栄、高岳両駅から徒歩5分

参加費: 500円

連絡先: cocoroibasyo@yahoo.co.jp

・ 090-4447-1840

水・木 15:00～20:00

・ 日曜日 18:00～20:00

次回「いっぷくどころ」のご案内

さまざまな宗派の僧侶の方が集った「いのちに向き合う宗教者の会」により、自死遺族と宗教者による分ち合いの会「いっぷく処」が開催されます。平日での開催となります。

日時: 2014年9月29日 (月) 14:00-

場所: 真宗大谷派東別院対面所 (東別院内)

・ 地下鉄名城線「東別院」下車

連絡先: info@inochi.in

・ <http://inochi.in/>

りめんぼー

夏の暑さが急に増し、蝉の音が一段と大きくなると、また命日がやってきます。

あの日からもう何回も夏を過ごしてきました。それでも、命日は、すべてのことを思い出させます。あの時の衝撃、あの時のにおい、あの時の暑さ、あの時の悲しみ、あの時の苦しみ、あの時の……。一年のうちで命日は最もあの日に近い日です。

「大切な人を自死で失ったのです」

そんな言葉を小さくつぶやいてみます。遺族会で何度も話し、何度文章に書いても表しきれない悲しみ、苦しみ、自責の思いがあふれてきます。誰かが救ってくれるなら、大きな声で叫びたい、でも今は神や仏でさえも、すぐには救ってくれるようには思えないでいます。

自分の中で一年はお正月ではなく、命日を区切りにして回っているように思えます。命日が過ぎた時、また新たな次の一年が始まるように感じるのです。そうやって一年、また一年と過ごしてきたのでしょう。命日の前夜一大晦日、きっとあの日と同じ暑い夜一静かにあの日のことを思い、過ごそうと思います。

(KN)